

平成 19 年度 終末期医療に関する調査 【 調査対象(案) 】

○ 前回(平成 14 年度)調査においては、一般国民、医師、看護職員、介護施設職員の計 13,794 人を対象に意識調査を実施した。高齢化の進展に伴い、介護老人福祉施設で最期を迎える人が増えてきたため、今回、介護老人福祉施設の看護職員を対象に含めた。

○ 調査対象者の内訳は、20 歳以上の一般国民 5,000 人(前回 5,000 人)、医師 3,300 人(前回 3,147 人)、看護職員 4,300 人(前回 3,647 人)、介護施設職員 2,500 人(看護職員を含む)(前回 2,000 人)とする。

「終末期医療に関する調査」調査人数			
対象者	対象施設	調査人数(案)	前回調査人数
一般国民	—	5,000	5,000
医 師	病院	2,000	2,000
	診療所	1,100	1,034
	緩和ケア	200	113
	計	3,300	3,147
看護職員	病院	2,000	2,000
	診療所	1,100	1,034
	緩和ケア	200	113
	訪問看護ステーション	500	500
	介護老人福祉施設	500	—
	計	4,300	3,647
介護施設職員	介護老人福祉施設	2,000	2,000
	総計	14,600	13,794